

審判員派遣報告書

派遣事業名	令和6年度第77回全国高等学校 バスケットボール選手権大会	派遣期日	令和6年12月23日～24日
報告者	大西 空	派遣先	東京都

1 大会概要

大会名称	令和6年度第77回全国高等学校 バスケットボール選手権大会	大会期間	令和6年12月23日～29日
大会概要	各ブロック、都道府県代表によるトーナメント		

2 担当試合 ※（試合内容は簡潔に書いてください）

日程	令和6年12月23日	会場	東京体育館*
審判クルー	CC: 佐田明美氏（大分） U1:大西空（香川） U2:宮澤孝尚氏（東京）		
担当試合	県立小林高等学校（宮崎） VS 高川学園高等学校（山口）		
試合内容	県立小林の勝利。		

日程	令和6年12月24日	会場	東京体育館
審判クルー	CC: 武田亜沙美氏（山形） U1:佐久間奈々氏（岐阜） U2:大西空（香川）		
担当試合	八雲学園高等学校（東京） VS 大阪薫英女学院高等学校（大阪）		
試合内容	大阪薫英の勝利。		

3 大会（研修会）を通して 《 学んだこと 感じたこと 県内審判に伝えたいこと 等 》

●試合を通して

1 試合目はチームのサイズに差はさほどありませんでした。ただその中でファウルとして取り上げるべき、取り上げた方が良かったものがあったと主任の方からご指摘頂きました。

結果としてショットに行けるケースはよく見て判断してコールするかしないか決断する事、怪我が起こったケースに笛が入らない、それはだれが吹くべきか、コントロールはどの時に変わるのか、しっかり見て判断する、どうしてバイオレーションが起こった、ファウルは無かったのか？

発見、分析、決断するまでのプロセスの分析の部分をもっとこだわり決断に繋げていけるようにします。

2 試合目は八雲の方には留学生が所属していて薫英とのサイズ差はありました。タフにバスケットをしてもらえるようにとクルーで1試合臨みました。

結果としてはタフにプレーはしてもらえ、両チームには意図は伝わりました。

ただその中で、クルーにコールしてもらったもの、コールするべきだったものがいくつかありました。どう見た、見えた、どう判断するかは磨いていきたいです。

●その他

この度は、派遣に際してご理解とご支援頂いた香川県バスケットボール協会の皆様心より感謝申し上げます。今回の経験、知り得た知識を県内に還元できるよう活動に励んで参りますので引き続きご指導のほどよろしくお願い致します